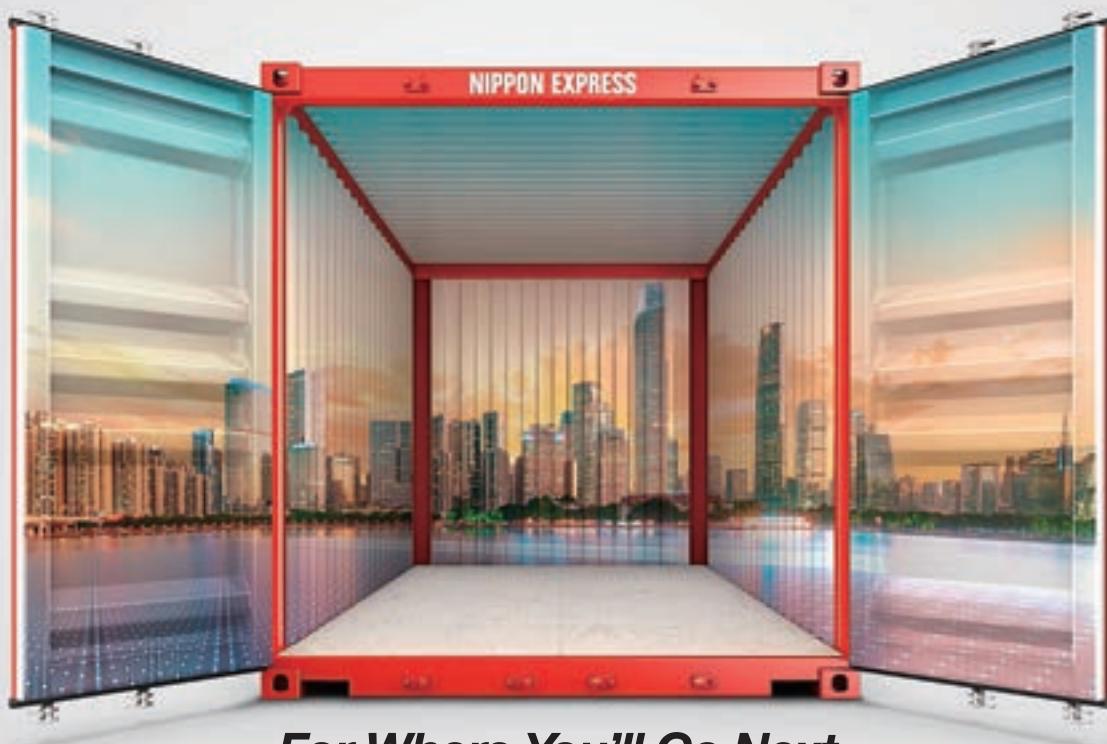


BUSINESS REPORT

We Find the Way
通 日本通運
NIPPON EXPRESS
証券コード No.9062

第116期 中間報告書 | 2021年4月1日～2021年9月30日

We Find the Way



For Where You'll Go Next



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

第116期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 齋藤 充

当第2四半期累計期間の世界経済は、主要先進国でのワクチン接種が進んだことによる経済活動の再開や財政支援などにより、日本を含む主要国では景気改善の兆しがみられるものの、依然として、多くの新興国では感染拡大に伴う経済活動制限による影響が強く残っており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきましては、主要国における生産・販売活動の再開により荷動きの回復傾向が継続しておりましたが、国内においては、半導体不足の影響を受ける自動車産業や個人消費の低迷などから、全体としての荷動きは力強さに欠ける状況で推移いたしました。

国際貿易では、米国、中国が牽引する形で拡大基調にあります。航空便の減便や運休に伴う輸送スペース不足、アジア発欧米向け海上コンテナ不足と運賃の高騰

など、その動向に注視が必要な状況にあります。

このような経営環境のなか、日本通運グループは、2019年4月1日よりスタートいたしました5年間の経営計画「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」に掲げた大きな方向性は変えることなく、足元の経営基盤を強化しながら、2021年中間目標に定めた各種指標の達成と、「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」という長期ビジョン実現に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

【事業の成長戦略】

- 「コア事業の成長戦略」については、営業戦略の中核に「グローバルアカウントマネジメント」を据え、グローバルな営業体制、組織の更なる強化に取り組んでまいりました。「お客様の求める価値」を見極め、お客様のニーズにあった商品やサービスを提供する「マーケットイン」

の発想をもった営業展開により、顧客(産業)軸アプローチを強化し、併せて事業軸、エリア軸アプローチの強化に連動させることで、コア事業の成長を進めてまいりました。また、高齢化する社会に対応する医薬品産業や、国家事業として基盤強化が図られる半導体産業など、今後の拡大が見込まれる分野に新たな成長を求め、継続的な事業強化に向け取り組んでまいりました。

- 「日本事業の強靱化戦略」については、先端技術導入による業務効率や生産性の向上に継続して努めるとともに、全国435の倉庫拠点におけるオペレーションの効率化やレベルアップを図ってまいりました。併せて、CSR経営の強化と営業戦力の増強も並行して進めてまいりました。また、グループ内作業戦力の最大活用による外注費の抑制と、徹底したコストコントロールに努めてまいりました。

「長期ビジョン実現のための取組み」

- 「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立」については、グループガバナンスを強化し、グループ全体としての持続的な成長を実現するために、2022年1月4日より純粋持株会社(ホールディングス)体制へ移行するための準備に取り組んでおります。また、ホールディングス体制移行に併せ、ブランド力強化の一環としてグループブランド「NX」を導入することといたしました。今後は、「日本通運グループ」から「NXグループ」としてグローバルかつグループ各社共通でブランディングを展開してまいります。

長期ビジョンを達成するための気候変動に対する取組みとして、従来からのモーダルシフトや照明のLED化など、環境経営を推進しています。また、社員が幸せを感じる企業への変革に向け、ダイバーシティの推進をはじめ、長時間労働の撲滅、年次有給休暇取得の取組みを行うとともに、柔軟な働き方の実現に向けたリモートワークの推進や服装自由化などの各種取組みを通じてワークスタイルの変革にも努めてまいりました。

この結果、第116期第2四半期連結経営成績につきましては、**売上高は1兆1,042億円、営業利益は363億円、経常利益は406億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は306億円**となりました。

なお、第116期中間配当金につきましては、本年11月12日開催の取締役会において、普通株式1株につき、90円と決定し、支払開始日を本年12月2日とすることを決定いたしました。

当下半期の経済動向につきましては、海外経済は、米国、中国など主要国経済が、引き続き回復を牽引することが期待されますが、変異ウイルスによる感染症の再拡大や地政学リスクの高まりなど経済の下押しリスクが顕在化しており、引き続き先行き不透明な状況で推移するものと予測されます。国内経済においても、感染拡大防止と経済活動の両立を図りながら回復基調となることが期待されますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の不安も残るなか、景気の下押し要因が強い状況が続くものと考えられます。

このような経営環境のなか、物流業界は、アフターコロナを見据えた経営戦略の転換に加え、働き方改革の推進や人材確保・育成への取組みを更に推進するとともに、デジタル化への対応、先端技術を導入した新たな物流サービスの開発や環境負荷低減への対応など、業界全体として社会の持続的な成長を支える新たな価値創造産業への転換が求められております。

日本通運グループは、更なる成長と、より一層の企業価値向上を図り、株主の皆様のご期待に応える所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

売上高

1兆1,042億円

営業利益

363億円

親会社株主に帰属する四半期純利益

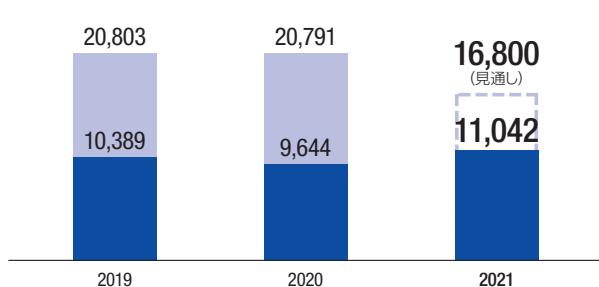
306億円

中間配当金

90.0円

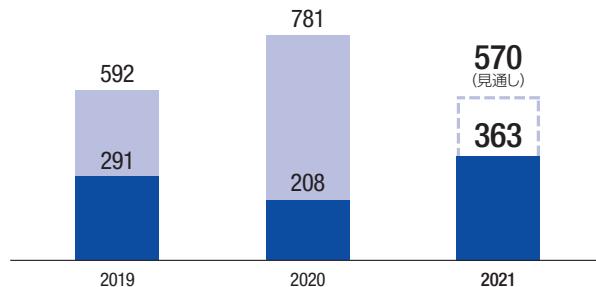
売上高 (単位: 億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



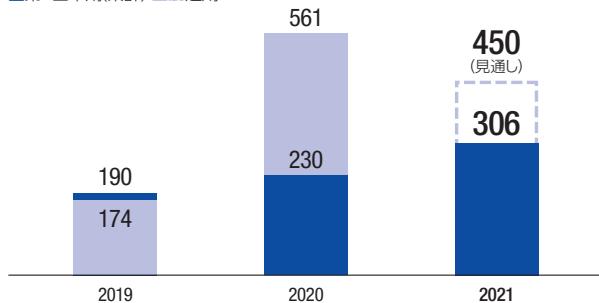
営業利益 (単位: 億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



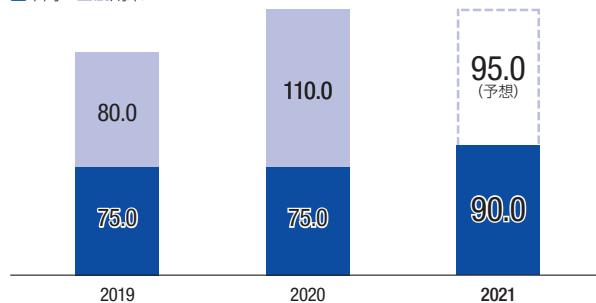
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位: 億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



1株当たり配当金 (単位: 円)

■ 中間 ■ 期末



※当社は、2021年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。従いまして、経過期間となる2021年12月期の連結業績見通しは、2021年4月1日から2021年12月31日の9ヶ月間の数値を記載しております。

ロジスティクス

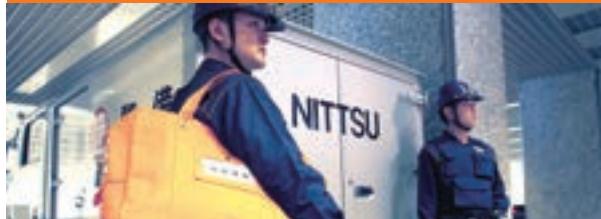


売上高
9,671億円

営業利益
354億円

日本 58.9%
米州 5.0%
欧州 7.2%
東アジア 9.1%
南アジア・オセアニア 7.4%

警備輸送



売上高
342億円

営業利益
1億円

重量品建設



売上高
238億円

営業利益
30億円

物流サポート



売上高
1,628億円

営業利益
40億円

※グラフの比率は調整額を除いて作図しております。

※当社は、2021年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しており、従来より12月決算の連結子会社について、前第2四半期連結累計期間は、2020年1月1日から2020年6月30日までの損益を基礎として連結しておりましたが、当第2四半期連結累計期間は、2021年4月1日から2021年9月30日までの損益を基礎として連結しております。このため、対前年同四半期増減額及び増減率については記載しておりません。

グループブランド導入

当社およびそのグループ会社は、2022年1月4日より純粋持株会社（ホールディングス）体制へ移行するのに併せて、ブランド力強化の一環として、グループ統一のブランドアイデンティティを新たに導入することを決定いたしました。

日本通運のアルファベット表記であり、新たなホールディングス社名でもあるNIPPON EXPRESSの短縮形、「NX」をグループブランドとし、この「NX」をデザインしたグループブランドシンボルと、新たに、フレッシュグリーンとネイビーブルーの2色のグループカラーを軸に、グローバルかつグループ各社共通でブランディングを展開してまいります。今後は、現在の通称「日通」から、「NX」ブランドとして、末永く皆様に親しんでいただけるよう浸透を図ってまいります。

● グループブランドシンボル



[縦組み]



[横組み]

● グループカラーについて

新ブランドシンボル制定に合わせ、フレッシュグリーンとネイビーブルーの2色の組み合わせを新たなグループカラーとして採用いたします。

この2色の組み合わせは、グローバル市場において当社グループの存在を際立たせるものであると同時に、グループとして以前より大切にしており今後の成長にも欠かせないと考える価値観を表現しています。



NXグループビルを竣工

当社は、東京都千代田区神田和泉町に「NXグループビル」を建設し、9月16日（木）に竣工式を執り行いました。所在地となる神田和泉町は、当社の前身である内国通運株式会社が拠点を構え、以後、当社の関連施設を設置し事業を発展させてきたこともあり、縁の深い特別な場所です。敷地内には当社創業のころより所縁の深い金網稲荷神社があり、厄除け・交通安全・商売繁盛につながると、地域の皆様にも親しまれております。

この度竣工した同ビルは、現在の汐留本社ビルに入居している本社機能をはじめとして、陸・海・空の機能を持つ支店およびグループ会社の一部を集約いたします。会社・部署間の壁をなくし組織を機能別に融合させることにより、総合力を発揮できるワンストップ体制を更に推進し、グループ経営力を高めてまいります。



NXグループビル外観



施主挨拶をする齋藤社長



エントランス



受付

純粋持株会社（ホールディングス）体制移行に伴う株式

Q 日本通運の株式はどうなるのですか？

A 日本通運の株式は上場廃止となりますが、日本通運の株式を継続保有していただける場合、2022年1月4日に自動的に日本通運株式1株に対して、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社の普通株式が1株割り当てられます。

Q 日本通運の株式は、いつまで取引所で売買することができますか？

A 日本通運の株式売買は2021年12月28日までとなり、12月29日以降はお取引ができませんので、ご注意ください。

Q NIPPON EXPRESSホールディングスの株式はいつから取引所で売買することができますか？

A 2022年1月4日から売買可能となる予定です。

関係のQ&A

Q

次の配当金はどうなりますか？

A

日本通運では、2021年度より決算期を変更しており、その経過期間となる第116期は、2021年4月1日から2021年12月31日までの9ヶ月決算となります。期末配当金は、2021年12月31日の最終の日本通運の株主名簿に記載または記録された株主の皆様、または登録株式質権者の皆様に対して、日本通運よりお支払いする予定です。

Q

日本通運からNIPPON EXPRESSホールディングスに変更するに際して、何か手続きは必要ですか？

A

日本通運の株式をそのまま継続保有していただける場合は、2022年1月4日に自動的にNIPPON EXPRESSホールディングスの株式が割り当てられますので、特段のお手続きは不要です。

Q

証券コードはどうなりますか？

A

NIPPON EXPRESSホールディングスが上場した場合、現在の日本通運の証券コードである9062は使用できなくなり、新たに証券コードが割り当てられることとなります。

国内の最適輸送モードを一括検索できる「ワンストップ・ナビ」のサービスを開始

「ワンストップ・ナビ」は、PCやスマートフォン、タブレット端末から発着地・個数・重量を入力するだけで、いつでも、どこでもご利用可能な輸送モードを瞬時に比較・検討できるサービスです。当社は総合物流事業者である強みを活かして運賃やリードタイム、更にはCO₂排出量など様々な視点で自社のネットワーク輸送網を駆使し、お客様に最適な輸送モードをご提案します。

特に、CO₂排出量については、輸送毎に異なる集配距離を地図データと連携して距離を計算し正確なCO₂排出量を算出します。この仕組みは物流業界で初めて第三者機関(SGSジャパン(株))による検証を受けており、算出されたCO₂排出量データは行政などへの公的な手続きに利用可能です。CO₂の「見える化」を実現し、お客様のCO₂削減に向けた取組みをサポートします。

業界初、
各種輸送モードの
CO₂排出量を横断的に
比較・算出できる
新サービス



https://www.nittsu.co.jp/logistics_solution/it/onestop-navi/





● オランダ日通

スキポール・エアポート・ロジスティクス・センターを竣工

当社の現地法人、オランダ日本通運株式会社は、スキポールトレードパーク内に「スキポール・エアポート・ロジスティクス・センター」を建設しました。同センターの設立によりオランダでの物流サービスの拡充を図り、経営計画において重点産業と位置付ける医薬品産業や半導体産業の取組みを強化してまいります。



竣工式の様子



医薬品専用温調庫



ULDハンドリングシステム



新センター外観

● 台湾日通

台湾域内の物流機能を拡充

当社の現地法人、臺灣日通國際物流股份有限公司は、台湾北部の桃園市に物流拠点（NEXT3倉庫）を新設しました。大都市圏に近接する優位性を活かして小売・EC関連の商材を取り扱うとともに、隣接した当社倉庫との一体運営で、保税貨物と非保税貨物を柔軟に保管することも可能です。台湾日通はグループのグローバルネットワークを活かした国際輸送に加えて、台湾域内の物流機能も更に拡充し、お客様の事業活動の発展に貢献してまいります。



NEXT3倉庫

Corporate Data

(2021年9月30日現在)

役員(2021年9月30日現在)

取締役

代表取締役会長



渡邊 健二
取締役会議長

代表取締役社長 社長執行役員



齋藤 充
最高経営責任者
経営戦略部門総括
経営戦略本部長

代表取締役副社長 副社長執行役員



石井 孝明
ビジネスソリューション部門総括



秋田 進
日本事業部門総括
日本事業本部長
ネットワーク商品事業本部長



堀切 智
コーポレートソリューション部門総括
コーポレートサポート本部長
CSR本部長

取締役 常務執行役員



増田 貴
経営企画部、
財務企画部担当

取締役



中山 慈夫



安岡 定子



柴 洋二郎

(注)中山 慈夫、安岡 定子および柴 洋二郎の各氏は、社外取締役であります。

監査役

常勤監査役



林田 直也



有馬 重樹

監査役



野尻 俊明



青木 良夫



讃井 暢子

(注)野尻 俊明、青木 良夫および讃井 暢子の各氏は、社外監査役であります。

執行役員

専務執行役員

近藤 晃
中村 栄一
内田 敏朗

常務執行役員

杉山 龍雄
鈴木 達也
中川 真人
長嶋 敦

執行役員

杉山 千尋
浜島 和利
竹添 進二郎

山田 雅之
藤代 正司
加藤 憲治
佐藤 謙

古江 忠博
田中 博之
大槻 秀史
赤間 立也

阿部 俊哉
藤本 達也
北井 利一
戸田 晴康

松尾 純利
佐竹 陽一
廣瀬 徹
柿山 慎一

戸田 達也
大辻 智
高原 博

会社概要

会 社 名 日本通運株式会社

本 社 〒105-8322
東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL: 03-6251-1111
https://www.nittsu.co.jp/

設 立 1937年10月1日

資 本 金 701億75百万円

従 業 員 数 35,442名

支 店 257支店

連結子会社および
持分法適用会社 連結子会社 252社
持分法適用会社 25社

事 業 内 容 貨物自動車運送事業
利用航空運送事業
船舶利用運送事業
内航海運業
鉄道利用運送事業
倉庫業
警備業
重量物の運搬、架設、設置および
これに付随する事業
建設業
通関業ほか

株式の状況

株 式 数 発行可能株式総数 398,800,000 株
発行済株式の総数 96,000,000 株

株 主 数 45,578名

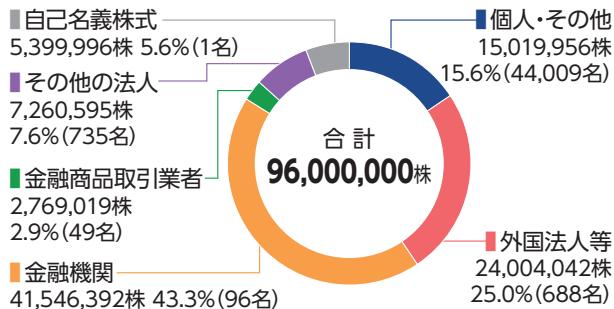
大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	12,849	14.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,110	7.8
朝日生命保険相互会社	5,601	6.2
日通株式貯蓄会	3,673	4.1
損害保険ジャパン株式会社	3,567	3.9

※ 持株比率は、自己株式5,399千株を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

〈株式数および比率〉



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
 - ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
- (※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては
 当社ホームページでも
 ご案内しております。

<https://www.nittsu.co.jp/ir/stock-info/procedure/>

日本通運 株式諸手続き



株主メモ

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 方 法 電子公告
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス
<https://www.nittsu.co.jp/>

C O R P O R A T I O N

事業内容やサービス紹介、最新ニュース、IR関連などの幅広い情報をタイムリーに発信しています。

<https://www.nittsu.co.jp/>



S P O R T S

当社は、部活動を通して、様々なスポーツの普及、振興、国際化に努めております。

<https://www.nittsu.co.jp/sports/>



T V C M

放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開している様々な取組みを多くの方々にお伝えしています。

<https://www.nittsu.co.jp/corporate/cm/>



We Find the Way「原英莉花プロ」篇

当社と所属契約を結んでいる女子プロゴルフの原英莉花選手に出演いただいています。

世界を舞台に挑戦するその姿を通じ、当社の企業メッセージ「We Find the Way」の理念を象徴的に表現しています。



世界日通。「医薬品」篇

世界日通。「医薬品」篇は、海外で開発された薬が患者の手に届くまでのストーリーの中で、当社の温度管理輸送や医薬品に特化した先進的な輸送を紹介しております。

LinkedIn公式アカウント

海外の日通グループで手掛ける事業内容を中心に、様々な情報を世界のビジネスユーザーに向けて発信しています。

<https://www.linkedin.com/company/nippon-express-group/>



Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfQeUnaQ>



We Find the Way

どんなに困難な環境でも、
ただ一つの最善のルートを見つけ出し、
磨き上げた技術の全てでモノを運ぶ。
日本通運は、原英莉花プロとともに
世界へ挑戦します。

日本通運所属
原 英莉花プロ



www.nittsu.co.jp